

**2026年度
カーボンニュートラル推進リーダー
育成講座(入門)
講義概要(シラバス)**



法政大学

科目一覧

〔発行日：2026/5/1〕最新版のシラバスは、法政大学Webシラバス（<https://syllabus.hosei.ac.jp/>）で確認してください。

凡例 その他属性

〈他〉：他学部公開科目

〈優〉：成績優秀者の他学部科目履修制度対象科目

〈S〉：サティフィケートプログラム_SDGs

〈ダ〉：サティフィケートプログラム_ダイバーシティ

〈カ〉：サティフィケートプログラム_カーボンニュートラル

〈グ〉：グローバル・オープン科目

〈実〉：実務経験のある教員による授業科目

〈ア〉：サティフィケートプログラム_アーバンデザイン

〈未〉：サティフィケートプログラム_未来教室

【A9835】カーボンニュートラル推進リーダー育成講座（入門）〔三田地 真実〕オータムセッション/Autumn Session

1

CMF100LJ（その他の複合領域 / Complex systems(Others) 100)

カーボンニュートラル推進リーダー育成講座（入門）

三田地 真実

開講時期：オースタムセッション/Autumn Session | 単位数：2
単位

曜日・時限：集中・その他 | キャンパス：市ヶ谷

備考（履修条件等）：

その他属性：〈未〉〈カ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

カーボンニュートラルを達成するために、地球規模で起きている環境・社会問題への理解を深める。授業では、カーボンニュートラルを推進している企業や自治体、本学キャンパスの施設見学など、実際の取り組みを知るためのフィールドワークを行い、多様な現場での実践例に触れて学びを広げる。各回の後半にはグループワークの時間を設け、訪問先に対して学生の視点から、カーボンニュートラル推進に向けた提案を行う。こうした活動を通じて、問題解決の場が必要となる話し合いの技術であるファシリテーションを実践的に学びながら、カーボンニュートラルを推進できるリーダーを育成する。

【到達目標】

1. コンテンツ（学習内容）のゴール：
カーボンニュートラルを達成するために、地球規模の環境・社会問題の構造の理解を深め、身近なところからアクションを起こすことができる。
2. プロセス（学習過程）のゴール：
環境・社会問題を解決していくための話し合いの技術（ファシリテーション）を学び、他の課題解決に対しても応用できる（毎回、ファシリテーションミニ講座を設定）。
3. 最終課題：
法政大学に対し、チームでカーボンニュートラルに関する取組の具体的な提案を行う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

大学ディプロマポリシーのうち「法政DP-IV」「法政DP-V」「法政DP-VI」「法政DP-VII」に関連。

大学ディプロマポリシーの詳細はこちら。

https://www.hosei.ac.jp/hosei/daigakugaiyo/rinen/hoshin/gakui_juyo/

【主な授業方法】

L 講義 /Lecture

【授業の進め方と方法】

毎回の授業の基本的な内容は、下記のとおり。

- ① ゲストスピーカー（CNに取り組んでいる企業、自治体、及び本学教職員）による講義
- ② フィールドワーク（企業及び本学の施設見学等）
- ③ ①②を踏まえたグループワーク

最終回の授業では、法政大学に対してカーボンニュートラルに関する取組の提案をチームでプレゼンテーションする。本学教職員が審査員としての講評を行う。

毎回の授業終了後には各自で記入するリアクションペーパーを課し、提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体にフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
プレ講座 (40分)	ガイダンス	9月5日（土）10：30～12：10（予定） 授業全体のオリエンテーション 目的・進め方・内容等の説明 CNについての紹介動画視聴など
第1回～ 第3回	取組紹介（1） 法政大学の取組（小金井） 研究紹介	9月11日（金） 小金井キャンパス 13：00～17：30（予定） 1）Think Globallyの視点から 澤柿教伸 先生 （本学業務執行理事、社会学部教授） ・診断医としての南極観測隊 ・人新世における南極の異変 ・イノベーションを起こす とき 2）Act Locally（その1） 本学のCN推進の取り組み全体像 岡本吉史先生 （理工学部教授、カーボンニュートラル推進センター副センター長） ・カーボンニュートラル推進センター の活動内容 渡邊雄二郎先生 （生命科学部教授、カーボンニュートラル推進センター運営委員、人材育成チームリーダー、カーボンニュートラル授業運営委員会委員長） ・鉱物によるCO2固定・回収の紹介 ・二酸化炭素濃度の測定の紹介 小金井キャンパスの施設見学 グループワーク
第4回～ 第6回	取組紹介（2） 法政大学の取組（市ヶ谷） 千代田区の取組	9月12日（土） 市ヶ谷キャンパス 13：00～17：30（予定） 1）Act Locally（その2） 組織としての本学のCN推進の取り組み 法政大学施設保全全部 （カーボンニュートラル推進センター脱炭素化推進チーム） ・市ヶ谷キャンパスのバックヤード などの施設見学 2）Act Locally（その3） 千代田区役所 ・市ヶ谷キャンパスの所在地である 千代田区の取り組み紹介 グループワーク
第7回～ 第9回	取組紹介（3） 積水ハウスの取組	9月14日（月） 積水ハウス エコファーストパーク等（茨城県古河市） 10：30～17：00（予定） 積水ハウス ・積水ハウスの取り組み紹介 ・施設見学 グループワーク

第10回～ 取組紹介（4）	9月15日（火）
第11回 東京ガスの取組	東京ガス 扇島LNG基地（神奈川県横浜市） 13：00～17：00（予定） 東京ガスエンジニアリングソリューションズ ・東京ガスの取り組み紹介 ・施設見学 グループワーク
第12回～ 取組紹介（5）	9月17日（木） 多摩キャンパス
第14回 法政大学の取組（多摩） 授業全体のまとめ	10：30～17：30（予定） 池田寛二先生（名誉教授、元社会学部教授） 鞠子茂先生（社会学部教授） ・多摩キャンパスの森林からカーボン・ニュートラルを考えよう ・多摩キャンパス森林・施設見学グループ発表準備 法政大学への提言（グループ発表） 授業全体の省察

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の予習時間・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキスト（教科書）は使用しない。

【参考書】

■カーボンニュートラル関連の参考図書等は以下の通り。（※）は全文ダウンロード可）

野村総合研究所編（2022）カーボンニュートラル、日経文庫
法政大学多摩環境委員会（2014）多摩キャンパス：自然と生物（※）
https://www.hosei.ac.jp/application/files/2615/7137/8082/tama_houkokusyo_2014.pdf

森林立地学会編（2012）森のバランスー植物と土壌の相互作用、東海大学出版
資源エネルギー庁スペシャルコンテンツ（キーワード検索すると関連記事が出てきます）：

<https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyoo/ondankashoene/>

脱炭素ポータル：

https://ondankataisaku.env.go.jp/carbon_neutral/

その他、授業中に適宜配付する。

■ファシリテーション関連の参考図書は以下の通り。（※）は全文ダウンロード可）

Justice, T. & Jamieson, D. W. (2012) The Facilitator's Fieldbook: Step-by-step Guides Checklist and Worksheet (3rd ed.), Harpercollins Leadership.

三田地真実（2009）環境との相互作用から理解する人間行動一応用行動分析学（ABA）の視点から、人間環境論集（法政大学人間環境学会）、10、23-42。（※）

三田地真実（2018）学生の行動を軸に見据えて、「機能するグループワーク」を企画・実施するために一応用行動分析学とファシリテーションの視点から、法政大学教育研究、9、27-39。（※）

https://researchmap.jp/mami_mitachi/published_papers/32140326

三田地真実（2022）対面授業のビデオ記録を活用した省察一経済学大人数授業アクティブ・ラーニング型授業での実践、名古屋高等教育研究、22、245-260。（※）

https://researchmap.jp/mami_mitachi/published_papers/36796477

中野民夫（監修）三田地真実（2013）ファシリテーター行動指南書一意味ある場づくりのために、ナカニシヤ出版

中野民夫・三田地真実（編著）（2016）ファシリテーションで大学が変わる一アクティブ・ラーニングにいのちを吹き込むには、ナカニシヤ出版

■リーダーシップ×行動分析学関連の参考図書は以下の通り。

島宗理（2015）リーダーのための行動分析学入門、日本実業出版社
三田地真実（2009）環境との相互作用から理解する人間行動一応用行動分析学（ABA）の視点から、人間環境論集（法政大学人間環境学会）、10、23-42。（※）

https://researchmap.jp/mami_mitachi/misc/22821962

【成績評価の方法と基準】

- ・各授業回におけるリアクションペーパー 40%
- ・最終プレゼンテーション（法政大学へのカーボンニュートラルに関する取り組みの提案） 20%
- ・最終レポート 40%

【学生の意見等からの気づき】

ポジティブな意見：

「発言の場が多く、様々な意見を聞くことができる点。また、個人の考えにとどまらず、それを表現することによって、新たなアイデアに結びつけることができる点。」

「授業が多摩や小金井の教授からも受けることができ、学びが広がった。」
→これらについては、さらに発展させて、学内教職員に公開できる部分は公開することを検討している。

改善を要する意見：

「リーダー育成系をもう少し授業で取り上げると思っていたので期待していたものとは少し異なっていたから。」

→リーダー育成については、現在取り組める時間が十分ではないことから、今後はその部分についての演習や講義も含めていくことを検討している。

【学生が準備すべき機器他】

- ・自分専用のノートPC（スマートホンは除く）を毎回持参すること。
- ・本授業はグーグルクラスルームを使うので、8月末までに登録を済ませておくこと。（履修登録者にはグーグルクラスルームへの招待を行うので、各自で登録をしてください。）

- ・事前学習では以下の動画教材を使用する予定である。事前に視聴しておくことが望ましい。「カーボンニュートラルミニ講座：基礎学習編」（デザイン工学部 川久保俊教授（作成当時））

<https://www.youtube.com/watch?v=hJwbUHO7pBs>

【その他の重要事項】

- ・定員（25名程度）を超過した場合は、抽選を行う。
- ・本授業は、オータムセッションの期間中に集中講義の形式で実施する。実施日は、9月11日（金）、12日（土）、14日（月）、15日（火）、および17日（木）の予定。

- ・第1回授業の前のプレ講座（オンライン）に参加することを必須とする（9月5日（土）午前中を予定）。当日、都合が悪い場合は後日録画視聴参加でも可とする。

その際に、授業の目的、進め方、など授業のガイダンスを行う。また、カーボンニュートラルの基礎として『なぜカーボンニュートラルの実現を目指す必要があるのか』オンデマンドシステム（<https://lms.hosei.ac.jp/rpv/home/default.aspx>）を視聴する。

- ・9月11日（金）（第1回～第3回）および9月17日（木）（第12回～第14回）の授業回については、本学のカーボンニュートラル推進の取り組みの一つである本科目の授業内容やゲストスピーカーの教員のカーボンニュートラルに関連する研究の取り組みを周知するため、一部内容を学内（学生および教職員）に対して公開する。なお、9月17日（木）（第12回～第14回）に実施する法政大学への提言（グループ発表）についても、公開対象とする。

- ・本授業では、課題の提出や資料の配布などについてはグーグルクラスルームを使用するので、注意されたい（学習支援システムは使いません）。

- ・授業に関する質問については、授業の前後、グーグルクラスルーム、メールなどで随時受け付ける。
- ・フィールドワーク先への交通費、昼食代等は、自己負担となる。

【Outline (in English)】

【Course Description】

This course offers students an opportunity to understand environmental and social issues globally in order to achieve carbon neutrality. Students will participate in several field works, including commercial companies, local governments, and universities that have promoted carbon neutrality. At the end of the course, students are expected to present proposals to Hosei University as a team to enhance their carbon-neutral environment. Students will learn facilitation techniques throughout the course in order to promote group projects.

【Course Objectives】

The course will provide students with the opportunity to learn: Content (Learning Material) Goals:

- ・ To understand the structure of global environmental and social issues to achieve carbon neutrality.
- ・ To take action in daily situations.

Process (Learning Process) Goals:

- ・ How to facilitate group discussions to solve environmental and social problems.
- ・ To apply facilitation skills to other problem-solving situations.

Final Assignment:

As a team, student must present concrete proposals for carbon-neutral initiatives to Hosei University

【Learning Activities Outside of Classroom】

Preparation for the final presentation will occur outside of class hours. The standard time allocated for preview and review for this course is 2 hours each.

【Grading Criteria /Policies】

Reaction papers in each class session: 40%

Final presentation (proposal for carbon-neutral initiatives at Hosei University): 20%

Final report: 40%

